

2024年度海外メディアを活用した認知度向上策の実施について

2024年2月19日
FinCity.Tokyo事務局

事業の背景と2024年度事業について

- 国際的な金融環境の変化や日本の政策取り組みの変化の中で、東京の金融市場について正確でポジティブな情報を発信する必要性が高まっている。これらを踏まえ、海外主要記者とのリレーション構築と、国際金融人材と親和性の高い金融専門メディアを用いた情報発信を組み合わせ、本事業の対象である高度金融人材にアプローチするためのプロモーション活動を促進する。
- 2022年度までは記事広告やウェビナーなど、ペイドメディアを中心に情報発信を実施し、2023年度からはよりオーガニックな発信を促すため、メディア向けラウンドテーブルや個別インタビューの実施などで関係構築を行うことに軸足を移した。2024年度は、引続きFCTで登用するアンバサダーや会員企業のネットワークも活用しつつ、東京の金融市場の魅力を伝える活動を実施するとともに国内メディアへの情報発信も実施する。
- 今後もメディアとの積極的なリレーション構築が求められており、ラウンドテーブルに限らず、インタビュー等の手段で重要媒体の記者等との関係構築を行う。さらに、FCTが実施するロードショーや主催イベント等の機会を通じて関係構築を強化する。また、SNS等を活用して、FCTの重要なオーディエンスである高度金融人材（資産運用業者やFinTech経営者）などとの直接的な関係構築も期待されるところであり、「国際金融都市・東京」構想を普及させるために、発信力と知見を有する人物を発掘し、FCTとの関係構築をサポートする。

委託業務の内容・条件【令和6年度版】-1/2

委託業務内容：以下内容を実施する。事業者の創意により、複数のコンセプトを提案すること。

- 戦略的なPRメッセージの構築、それに基づくリレーション構築手法・企画の提案

事業者の経験や洞察に基づく、メディアリレーション構築手法や発信すべきナラティブ案などを検討し、審査会で戦略案を提示すること。最終的な方針は弊機構との協議によって決定する。以下の要素を含むこと。

- ・ ラウンドテーブル等の企画には、東京の金融市場についての発信に資する意思と資質を有した登壇者候補の提示。FCT関係者以外も提示に含めること。
- ・ リーチできる高度金融人材や国内外の主要なジャーナリストなどの例示。
- ・ FCTの海外ロードショー（ニューヨーク、ロンドン、シンガポール等）や主催イベントへの連携の提案。

- 【海外メディアとのリレーション構築】

主要な社会動向、メディアの関心等を踏まえ、以下のような手段を効果的に組み合わせたパッケージを提案すること

- ・ 海外メディア向けのメディアキットの更新
- ・ メディア向けラウンドテーブル（海外向けに3～4回程度、国内向けに1～2回程度開催する）
- ・ メディア向け個別ブリーフィングの開催（国内・国外向けにピッチ・インタビュー等を合計12回程度実施する）
- ・ 海外メディア向けニュースレターの作成・発行（年12回程度）
- ・ 外国語によるプレスリリースの作成、発信（発注者の求めに応じて年2～3回程度）
- ・ 海外メディアからの問合せ対応、掲載記事のフォローアップ、英語対応
- ・ 国際金融都市構想、東京の魅力訴求に関する記事誘導に向けた働きかけ
- ・ 登壇イベント時のサポート（発信内容提案、英語対応等）
- ・ SNS等を活用した記者・海外金融関係者とのダイレクトコミュニケーション

委託業務の内容・条件【令和6年度版】-2/2

● 【海外メディアを通じた記事広告やオンラインツールを通じた情報発信】

以下のような内容を実施する。

- ・海外金融専門メディア活用に係る戦略策定（時期、媒体選定、内容等）
 - 記事広告は3本を想定しており、海外金融人材に訴求力のある有力な媒体を提案すること。また、少なくとも1社以上は大手の媒体（Financial Times, Reuters, Wall Street Journal等を想定）を提案に含めること。
なお、媒体の選定について、FCTと協議のうえ最終決定とする。
記事内容について、1本は「東京のアジアにおけるサステナブルファイナンスにおける地位や影響力等に関するもの」、残り2本については「国際金融都市・東京の強みやモメンタム」をアピールするものを提案すること
 - 記事広告作成にあたっては受託者が登壇者をする。ただし、必要に応じてFCTからも登壇者候補を提案するため、受託者は登壇に向けて調整を行うこと。
- ・海外金融専門メディアに対する記事広告等の企画・調整・作成・掲載等
 - 掲載後の広報手段について提案すること

● その他関連業務

- ・報告書作成（毎四半期）
- ・効果測定およびそれを踏まえた来年度の戦略への提案

（本事業を通じて東京のポジティブな情報が海外メディアの編集記事等においてどれだけ発信されたかを効果測定する。
加えて、FCTの認知度向上や、記事広告等のPV数も測定する）

【契約期間・金額等】

- 契約期間 : 2024年4月～2025年3月
- 委託金額 : 5800万円（税込み）
- 選定方法 : 企画競争入札
- 評価 : 提案内容を総合的に判断して1社に選定

【審査方法について】

プレゼンテーションを事前に動画収録の上、3月8日（金）17:00までに以下①及び②をFinCity.Tokyo事務局宛に提出すること。別途日時指定の審査会で質疑応答を実施する。なお、以下①については、大容量ファイル送信サービス等を利用し、メールで提出すること。

① プレゼン動画（※事前収録、各社30分程度、mp4形式）

② 提案書（PDF形式）

提出先：FinCity.Tokyo事務局宛 Core@fincity.tokyo

評価項目

以下項目毎に配点（１点～１０点）を行い、受託事業者を選定するもの

- 専門性（１０点満点）
 - PRや対外発信に対する知見、基礎的理解・見識。さらに金融（資産運用・FinTech）分野における専門知識。
- 海外メディアとのネットワーク（１０点満点）
 - 本プロジェクトに関わる各種ステークホルダーとのネットワークや日常的なコミュニケーションの有無。さらにFCTの海外ロードショー活動や実施イベントなどに連携機会の提供能力。
- 情報収集・調査能力（１０点満点）
 - 各プロジェクトに必要な情報を、網羅的に、正確に、かつ迅速に収集する能力。また、有識者など登壇者へのアクセス。
- コミュニケーション能力（５点満点）
 - 国内外の金融関係者及び監督官庁を始めとする各種ステークホルダーと円滑にコミュニケーションを行う能力
- 語学力（５点満点）
 - 海外記者や金融関係者等との折衝、交渉、コミュニケーションや英文ライティングを円滑に行う能力
- 柔軟性（５点満点）
 - 事業に関わる各種ステークホルダーと円滑にコミュニケーションを行う能力。既成概念にとらわれずに、目的達成に向けて行動する能力
- 企画書の提案力（１０点満点）
 - 各タスクに対する仮説構築能力、文章能力。魅力的な仮説の作成能力。
- プロジェクト支援体制（５点満点）
 - プロジェクトリーダー、マネージャーを中核とした実行力のあるプロジェクト体制

支払い方法

- 契約に関する納品物（業務の最終報告書等）をもって2024年度末までに支払う

業務履行にあたっての留意点

- 本事業の企画・運営にあたっては、無理のないスケジュールを立案の上、適切な進行管理を行い、期限を遵守するとともに、確実に業務を執行すること。
- 本事業におけるイベントやアドボトリアルなどでFinCity.Tokyoアンバサダー含む外部有識者に登壇を依頼した際は、委託事業者から登壇料・謝金等を支払うこと。
- 本事業を円滑に推進するため、事業の実施方針や進め方、技術的対応等について、FinCity.Tokyoと十分に調整を図るとともに、FinCity.Tokyoから申し出があった場合には、速やかに本委託業務の進捗状況を報告すること。
- 契約金額には本業務の履行にかかる一切の費用を含むものとし、金額的に実施不可能な提案は行わないこと。
- 本委託業務の提案・実施に当たり知りえた情報（本仕様書の内容及び中期事業計画を含むがこれらに限られない）については、他の目的で使用し又は第三者に開示しもしくは漏洩してはならないものとする。本委託契約終了後も同様の取扱いとする。

権利の帰属

- この仕様書に基づく業務により作成された作成物に係る著作権の全ては、FinCity.Tokyoに帰属するものとする。受託者は、FinCity.Tokyo及びその指定する者に対して成果物の著作権者人格権の行使をしないこと。
- 作成等に当たり、第三者の著作物を利用する場合には、当該第三者から受託者が適切な許諾を得ておくこと。なお、委託完了後もFinCity.Tokyoが無償で著作物を利用できるようにすること。
- 作成等に当たり、他者の著作権を含む知的財産権、肖像権その他のいかなる権利も侵害しないこと。万一他者の権利に抵触した場合は、受託者の責任と費用をもって適正に処理すること。

＜問い合わせ先＞

一般社団法人東京国際金融機構（FinCity.Tokyo）
事務局HP <https://fincity.tokyo/contact/>